

# 「うちどく（家読）10（テン）」 家族で本のことを話そう！

可見市がすすめる「うちどく（家読）10（テン）」とは……

家族みんなで同じ本を読んだり、本について感想を話し合ったりする、家庭での読書をすすめる運動です。

お互いに本を教えあったり、読む本を相談したりすることで、家族のコミュニケーションが深まります。子どもにとって大人に本を読んでもらう時間は、成長後もその子を支え続ける、至福の時間になります。

すばらしい本との出会いを、ぜひ子どもたちにプレゼントしてください。

★ 10（テン）にまつわる目標を決めてみましょう ★

- \* 家族で毎日本を10分以上読む！
- \* 家族あわせて1カ月で10冊以上読む！
- \* 1年間に一人10冊以上読む！

など、それぞれの家庭で、自由に決めてみてください。



## 「うちどく（家読）10（テン）」コーナー



本館2階 親子閲覧室の  
絵本コーナーにあります。

季節のおすすめの本を毎月1回のペースで入替しながら展示しています。

# うちどく（家読）10 すいせん図書リスト 中学生向け

中学生の読書活動を推進するため、図書館がおすすめする本を載せた「すいせん図書リスト」を、毎年1回作っています。

可児市内の中学1年生に配布しています。また、図書館（本館・分館）の中でも展示しています。

実話	カーとして海外旅行に出ました。そしてモザンビークという国で、貧しさや病気で苦しむ人々を支援する活動を始めました。23才までの生活とその後の進路にびびります。		
No.13	ごさい あゆみ 誤解だらけの明智光秀	ほんごう かずと 本郷 和人	マガジンハウス
歴史	本能寺の裏をおとした明智光秀は、今まで戦国武将としてあまり人気がありませんでした。それは「本物の史料」にも嘘があり光秀が語解されているからで、その語解を解くためにこの本を書いたと著者は言います。疑問点をたくさん項目に付けて、よもやま話も載っています。		
No.14	ブレイクスルー	しげはら 邦之 正村 邦之	現代書館
伝記	正村さんは勉強がいやで中学1年から学校へは行かなくなり、新聞店・自衛隊・八百屋などで働きました。あることをきっかけに運動強しで学歴の低い「司法書士」の資格に挑戦します。合格して働きはじめると「突破力」は、不可能なことは何もないと思わせるほどです。		
No.15	モリタ 彩子 故郷の味は海をこえて	あすな なる 安田 流津紀	ポプラ社
社会	自分の国では安全に暮らすことができなくて日本にやってきた人たちを「難民」と呼びます。安田さんは難民たちがつづけてくれる故郷の料理を食べながら彼らの話を聞き、私たちが知らない難民たちの喜びしい家郷を発信しています。		



## うちどく（家読）10 すいせん図書リスト

中学生向け

可児市立図書館

<https://www.kani-lib.jp/>

本館 Ⅸ62-5120  
可児市広見570番地5  
稚子分館 Ⅸ65-8530  
可児市東郷子1011  
桜ヶ丘分館 Ⅸ64-3473  
可児市早ヶ丘6丁目1番地1

可児市立  
図書館  
スマート  
フォン用  
ウェブサイト



2020年作成

本館の「すいせん図書リスト」の本の展示  
YA（ヤングアダルト）コーナーにあります

